

▼オーラップ錠 [内] <2021.3 販売中止>

【重要度】 【一般製剤名】ピモジド (U) pimozide 【分類】抗精神病薬

【単位】▼1mg・▼3mg錠

【常用量】初期量1~3mg/日, 症状に応じ4~6mg/日に漸増 [通常6mg以下で維持し, 最大9mg/日]

【用法】1日2~3回 [1日1回の場合は朝が望ましい]

【透析患者への投与方法】PKの特徴からは減量の必要なし (5)

【その他の報告】設定されていない (1)

【保存期CKD患者への投与方法】PKの特徴からは減量の必要なし (5)

【その他の報告】心電図異常を起こすおそれがあり慎重投与 (1)

【特徴】神経遮断剤で、それほど高度でない無関心・無為・自閉・感情鈍麻などに効果がある。作用発現は比較的緩徐であり、かつ作用持続時間が長い。AUCはCYP2D6酵素多型の影響を受ける。

【主な副作用・毒性】心室頻拍, 突然死, 悪性症候群, 痙攣, 低Na血症, 顆粒球減少, 血栓症, パーキンソン症候群, アカシジア, ジスキネジア, 眠気, 不穏, 低血圧, 肝障害, 血中プロラクチン上昇, 消化器症状, 顔面浮腫など

【安全性に関する情報】QT延長に注意 (1) 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させない (1)

【F】約50% (U) 資料なし (1)

【tmax】6~8hr (U) 8hr (1)

【代謝】CYP3A4, 2D6で代謝 (U) N-脱アルキル化体には活性なし (U) CYP1A2が関与している可能性もある (1) AUCはCYP2D6のPMでEMの3.7倍 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率0.12% [po, 72hrまで] (1) 尿中に主に代謝物として40~50%が回収 (U) 【CL/F】32.7mL/hr [po] (1)

【t1/2】単回投与29±10hr [健康人] (U) 患者ではさらに長い (U) 23~53hr (1) CYP2D6のEM31hr, PM61hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd/F】1071L/man [po] (1)

【MW】461.55

【透析性】資料なし (1)

【O/W係数】資料なし (1) 【TDMのポイント】CYP2D6の多型による個別投与設計が有用な可能性 (Rogers HL, et al: J Clin Psychiatry 73: 1187-90, 2012)

【相互作用】SSRI, アジスロマイシンが消失を障害するので併用を避ける (Desta Z, et al: J Clin Psychopharmacol 22: 162-8, 2002) CYP3A4阻害剤, SSRIとの併用禁忌 (1) QT延長を起こす薬剤との併用禁忌 (1)

【更新日】20210330

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。